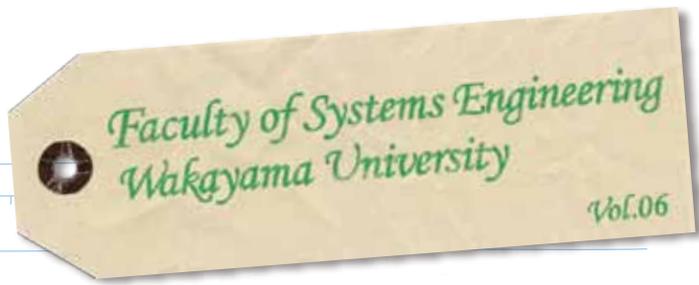


COMMUNICATION LEAFLET

— 卒業生と大学をつなぐ —



学部長より ～卒業生の皆さんへ～



卒業生の皆さん、お元気で活躍のことと思います。国立大学法人の平成16年度～19年度の中期目標達成評価（大学ランキング）では、本学はあまり芳しくない評価を受け、皆さんにいろいろご心配をおかけしましたが、平成20年度～21年度の評価では、顕著な向上が認められ、教職員一同、胸をなでおろしているところです。今後も第二期中期目標の達成に向けて教職員一丸となって努力する所存です。また、システム工学部の研究活動の状況の判定が、平成20～21年度は「期待される水準を上回る」と高い評価を得たことは、システム工学部およびシステム工学研究科の研究アクティビティの高さを物語っています。その原動力として、システム工学研究科が博士後期課程を有しており、優れた研究能力と工学実践能力を備えた博士（工学）を輩出していることが挙げられます。最近では、企業人が社会人ドクターとして本学研究科に入学されることが増えてきました。卒業生のみならず、社会人ドクターとして本学研究科博士後期課程に入学されてはいかがでしょうか。現在、従来の工学研究のみならず、技術経営学（MOT）などの実践的な講義の履修も行っており、今後、社会が強く望むグローバル人材養成のためのインターンシップなども計画しています。さらに、「システム工学研究科博士後期課程高度知識技能職育成プログラム」（授業料免除、出前研究指導）も用意しておりますので、ご興味がありましたら、システム工学部教務係にお問い合わせください。

さて、今年の3月には、東北地方を震源とする大震災が起り、東北・関東地域に未曾有の被害をもたらし、日本全体がその復興にむけて努力しています。本学としても、被災者には心からお見舞い申し上げるとともに、可能な限りの支援を行っています。その一方で、大震災の影響と景気低迷等が相俟って、本学学生の就職活動に影響することを危惧しております。従来より、システム工学部では、学生の就職支援のためにキャリアサポート室を設置しており、求人情報の収集、就職相談、就職説明会、学生の面接指導などを実施しています。その成果として、22年度には高い就職率（学部卒業生：88%、大学院博士前期課程修了生：98%）を達成しました。しかしながら、マスコミ等で報道されているように、今年は震災の影響で採用状況が例年とは異なる様相を呈しています。卒業生各位におかれましては、皆さんの企業に導いていただくようお願いするとともに、リクルートなどでご来学されるのであれば、システム工学部のキャリアサポート室または各学科長にご一報いただけたらいつでも対応させていただきます。本学学生の就職活動に多大なるご支援をお願いしたいと思います。

システム工学部が設置されて15年が経ち、卒業生のみならず、社会で中堅および若手の担い手として活躍されておられますが、現時点では、同窓会の重要性はあまり理解されていないかもしれません。同窓会を通じての人のつながりは、皆さんが社会の重要な地位に就くにつれて実感されると思います。今後、本学の同窓会を卒業生ご自身の活動に十二分に活かしていただきたいと思います。今後とも、システム工学部およびシステム工学研究科と同窓会の発展のためにご尽力をお願いいたします。

（システム工学部長 木村 恵一）

システム工学部同窓会

ホームページ開設しました。 >> <http://www.wadaiys-dousou.net/>

→ 和歌山大学HPトップ <http://www.wakayama-u.ac.jp/> で“卒業生の方”から“OB会[システム工学部同窓会]”をクリックしてください。

11月19日に開催します第3回同窓会近況報告会の案内や、過去の同窓会の写真などをご覧いただけます。

また、同窓会用メールアドレスは次のとおりです。 >> kinkyoo@sys.wakayama-u.ac.jp

教員異動のお知らせ

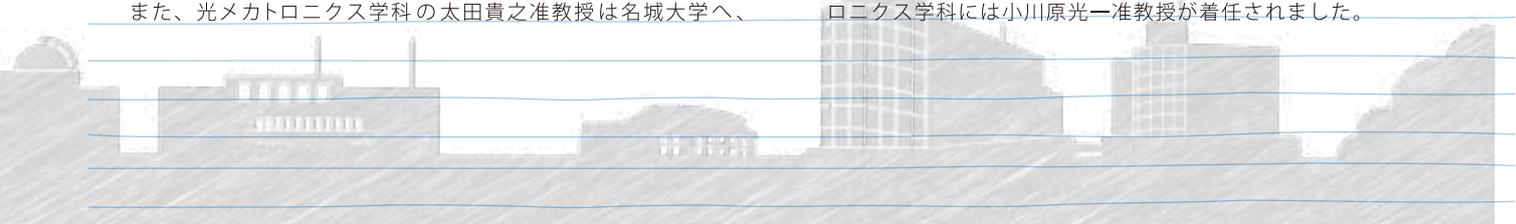
この3月で、環境システム学科の日下正基教授と光メカトロニクス学科の越本泰弘教授が定年を迎えられました。

詳細については、それぞれの学科のページをご覧ください。

また、光メカトロニクス学科の太田貴之准教授は名城大学へ、

環境システム学科の山田宏之准教授は大阪府立大学へそれぞれ転出されました。

一方、4月には、環境システム学科には高砂正弘教授が、光メカトロニクス学科には小川原光一准教授が着任されました。



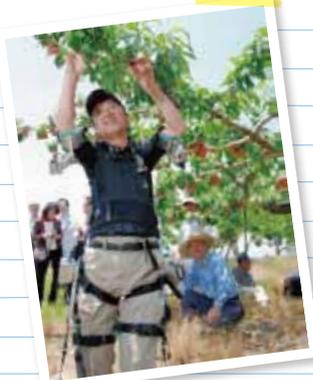
高齢化の問題が顕著に表れ始めている和歌山県の基幹産業である「農業」を救うため、筋力が弱った人でも元気に農業を続けられる夢のようなロボットを研究しています。全国のいくつかの大学でも研究開発されていますが、和歌山大学のロボットは総質量が11.5kgと最も軽く作られている装着型のパワーアシストスーツです。

このスーツにはセンサーが取り付けられていて、肩や腰の関節角度や靴底にかかる力を計測することによって装着者の体の動きを感知します。腰に取り付けた制御用コンピュータでセンサーが感知した装着者の動作を計算し、その動きを補助するように電動モータを作動させて肩や腰にかかる力を軽減します。装着した人の意図通りにロボットを動かすことができるため、果物の収穫など長時間腕を挙げたままでの作業や、傾斜地での歩行動作時などで、実際に使う力が2分の1から3分の1程度で済

みます。筋肉が動く時に発生する筋電位信号を計測する必要がなく、このためのセンサーを手足に取り付けずに済むため、装着が簡単でわずらわしさが少ないことが特徴です。

昨年度から農林水産省の5年間の委託プロジェクト研究に指定されて研究が加速しました。県工業技術センターと共同で研究開発を進め、県内企業にて製作しました。5月20日には、紀の川市の桃農園の袋がけ作業にて実証試験を行いました。試着していただいた農家の男性は、「最初は重いと感じたが慣れたらとても楽。普段走れない畑の中でも楽に走れた。」と驚いておられました。NHKの関西ニュースで放映され、報道各社が取材に来てくれました。現在、実証試験でいただいたご意見を反映し研究開発を進めています。お盆前には、10kg以下に軽量化する等の改良を行ってより実用化に近づけた試作機で再び実証試験を行い、新聞発表しますのでご期待下さい。

(光メカトロニクス学科 教授 八木栄一)



女子学生支援活動

最近の女子学生支援の取り組みについて

みなさん！こんにちは！！

覚えておいででしょうか？理系の女子学生支援として、今年もタテとヨコのつながりのきっかけづくり、学生生活、進学、就職への応援の取り組みに励んでいます。

今年は、オープンキャンパスで女子高校生（保護者の方）を対象にしたブースを設け、女子学生支援の紹介や、5学科の女子学生に学生生活や学科の相談に役立ててもらい、女子高校生の志

願者が増えるように努めていく新しい取り組みを行います。

また、昨年は企業見学会を実施し、(株)中野BC、タカシヨー(株)へ訪問し、OGの先輩方や企業のご担当の方々と接し、働くこと社会へ出ることをより身近に感じました。

今年も企業見学会を計画しております。皆さんの会社へ訪問するかもしれませんが、その際はよろしくお願い致します。

(キャリアサポート室 大野庸子)



▲ 学部長と座談会



▲ 企業見学会<(株)中野BC>



▲ 女子学生対象メイク講座

Computer and Communication

— 情報通信システム学科 —

Faculty of
Systems Engineering

学科長 あいさつ



今年度から学科長の任に就いております。今年度は、これまで学科の発展に多大な貢献をされてきた中川先生が定年を迎えられ、またJABEEの認定継続審査を受けるというビッグイベントがあります。このような中でも、より良い情報通信システム学

科を目指して改革を続けて参りますので、当学科の研究・教育・社会貢献等での活躍にご期待ください。また、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(情報通信システム学科長 和田 俊和)

中川 研究室

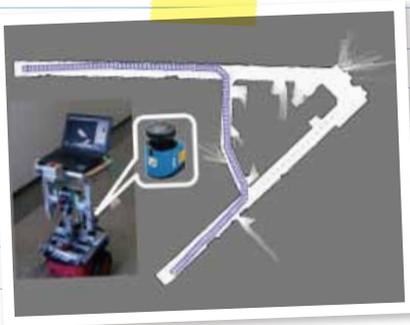
私こと今年度末に定年退官（65歳）を迎えることになりました。東京での22年間の研究所勤めの後に、大学教授として18年間働くことができ、その間に優秀な学生を多数輩出し、また、国や県、或は企業や他大

学との共同研究も数多く実施し、多くの仲間を得ることができました。これからも、熱意ある日本の若者達の支援を続けられたいと考えています。

(教授 中川 優)



中村 研究室



本研究室では、視覚・距離センサから得られる情報を用い、コンピュータビジョン、ロボット工学、人工知能などの分野で使用されている数々の最適化アルゴリズムを駆使して、生活支援・サービスロボットなど、「人に優しく・役に立つロボット」の開発を目指しています。最近の学生の研究例では、レーザー式距離センサを用いて環

境地図を自動生成するシステム、生成された地図を基に自己位置同定するシステム、生成された地図を基に経路生成し経路に沿って走行するシステムを開発し、システム工学部A棟5階のフロア内なら、スタート・ゴール地点を指定するだけで、自律的に移動できるロボットシステムを開発しました。

(准教授 中村 恭之)

岩崎 研究室

本研究室では、コンピュータグラフィクスについて研究・教育を行っています。現在の主な研究テーマは、リアルタイムレンダリング、ビジュアルシミュレーション、並列コンピューティングです。現在、大学院修士課程7名、学部生4名と共に日々研究活動しています。2010年度は、学生のひたむきな努力の

結果、VCシンポジウム2010において発表した、氷の融解ビジュアルシミュレーションに関する研究で優秀研究発表賞を受賞しました。また、球面ガウス関数を用いたリアルタイムレンダリングに関する研究で、情報処理学会全国大会において学生奨励賞を受賞しました。

(准教授 岩崎 慶)



Opto - Mechatronics



学科長 あいさつ

卒業生の皆さん、こんにちは。お元気でお過ごしのことと思います。昨年度末から今年度にかけて大きな2つの動きがありました。1つ目は越本先生の定年退職、太田先生の名城大学への異動、小川原先生の赴任です。2つ目は学科の構成の再編です。「光メカトロニクス計測」と「メカトロニクス制御」を大きな2つの柱としました。人事と組織が変化した学科の実態は？ 気になりますね。ぜひ大学まで足を運んで確かめてください。

(光メカトロニクス学科長 野村 孝徳)

小川原 光一 先生より

2011年4月1日に光メカトロニクス学科に着任した小川原と申します。

新しく立ち上がった知的メカトロニクス研究室に所属することになり、同研究室の長瀬先生・鈴木先生と協力して学生指導に研究に邁進して行きたいと思っております。

知的メカトロニクス研究室では、日常生活空間で人間を支援するための知的な口

ポット技術について研究を進めています。この分野はロボティクス以外にも画像処理やパターン認識など多くの技術を総合的に扱う研究分野であり、様々な研究機関と協力しながら、世の中で役立つものを生み出せるように研究に取り組んでいます。この新しい研究室の活動をどうか温かい目で見守ってください。



越本 泰弘 先生より



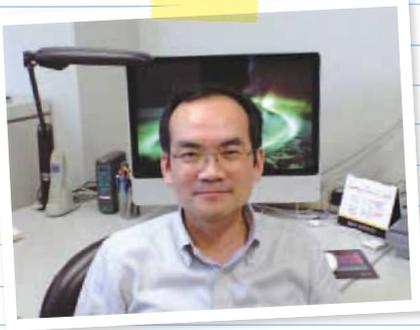
3月25日に卒業生を見送った後、後を追うように大学を引き払って震災の余震のある東京に向かいました。3ヶ月たち当初の計画停電や規制、物資不足は落ち着きましたが、東北の友人を見舞っても、復興復旧はこれから、の感があります。

最近、英語に直しにくい言葉ですが「絆」という言葉がよく聞か

れ、募金やボランティア募集でも友好的な雰囲気日本人の良さが出ている、と感じます。大学人の好きな言葉は「一期一会」だそうですが、第一線を離れても、社会・大学で得た皆さんとのつながりを大切にしつつ、出来ることをしたい、と思っています。でも、健康が一番ですね。

Material science and Chemistry

学科長 あいさつ



精密物質学科は物質を扱う教育・研究を通して社会に貢献できるよう努力を行っておりますので、3月の震災に伴う原子力発電の安全神話の崩壊を、資源・エネルギー問題に関して一定の責任を負うものと再認識してまいります。また、特に実験系の学科として、災害にも柔軟に対応できる人材の

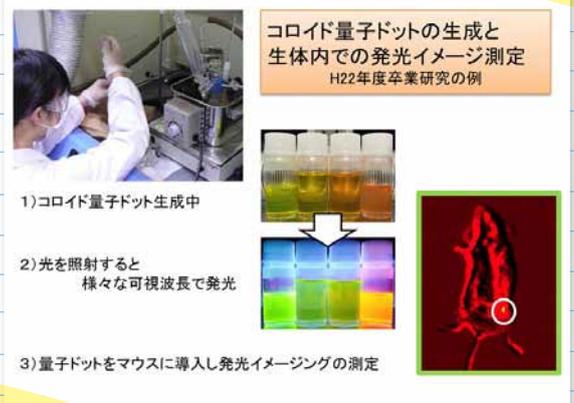
育成を通して社会に貢献できるよう努力したいと考えます。そのためにも、卒業生の皆様には多く大学に立ち寄り、社会で得た経験と知恵を後輩に伝えていただければ嬉しく思います。

(精密物質学科長 坂本 英文)

最近の先端物質科学講座

この1年間、先端物質科学講座の教員に異動はありませんでした。9名全員、元気で教育・研究に励んでいます。さて、精密物質学科は物理と化学の両面から新規物質・材料の探索と創成を目指す学科ですが、高校で物理を履修してこない新入生が最近増えてきました。そこで食わず嫌いを直し、物理の面白さと重要性を学んでも

らうべく、昨年度から導入専門科目を再編成しました。1~3セメスタ順に、基礎物理Ⅰ(主に力学)、Ⅱ(主に電磁気学)、Ⅲ(主に振動・波動、光学)を開講し、連携をもたせることで、未履修学生には取付きやすく、既履修者には高校とは異なった新たな観点から物理学を学習してもらっています。(教授 篠塚 雄三)



橋本 正人 先生より



2010年10月に教授となりました。無機・錯体化学グループの名称は変更していませんので、今までどおり存続しています。現在、スタッフ一名学生六名の小ぢまんまりしたグループです。無機化学・構造化学関係の講義も整理、スリム化されました。早いもので和歌山着任15年目となり、卒業生数もかなりの人数になります。

初期の卒業生の人たちは、もう中堅と呼ばれる世代グループに入っていることでしょう。その割りに研究があまり進んでいないところを、何とかせねばと思っています。卒業生の皆さん、それぞれの所属組織で要求される役割を充分に果たし、信頼され且つ必要とされる人物として活躍してください。

学科長 あいさつ

学科の近況ですが、平成23年の3月をもって、日下正基先生
がご定年を迎えられました。また、特任教授としてご定年後も
本学にとどまって下さっていた濱田学昭先生も、任期満了によ

り本学を去られました。さらに、山田宏之先生が、平成23年の
4月に大阪府立大学の方へ教授としてご栄転されました。
新しい動きもあり、平成23年の4月に、高砂正弘先生を教授
として学科にお迎えしました。吉田登先生が教授になられ、平
田隆行先生が准教授になられました。また、「最先端・次世代

研究開発支援プログラム（日本学術振興会）」研究のために、
土屋一彬先生を特任助教としてお迎えしました。
環境システム学科は、3名の先生が去られたことで「ひとつ
の時代」が終わったのかも知れません。今の1年生は、すでに

16期生です。とはい
ながら、学科の方は、
お若い先生達が「旬」
を迎えた状態になり、
ますます元気です。こ
の私も、50歳を目前
に（あとまだ2年あり
ますが）学科長なんか

になってしまっています。「あり得ない」という皆さんの声が聞こえて
きそうです。大学は皆さんにとって「実家」です。いつでも戻って来て
ください。そこには、皆さんの青春が詰まっているのですから。

（環境システム学科長 中島 敦司）



新入生オリエンテーション



新入生間および学生と教員間のコ
ミュニケーション円滑化を目的とし
て、4月16日にオリエンテーション巡
検旅行を実施しました。昨年までは平
日午後半日だけで行われていました
が、今年は土曜日一日をかけての実施
となりました。行き先は、特徴的な棚
田景観で有名な有田川町あらぎ島、有
田川ウインドファームの風力発電施
設、湯浅町の重要伝統的建造物群保存

地区の三カ所です。当日は曇りでした
が、伝統景観から自然エネルギーま
で、環境システム学科が対象とする研
究教育現場を網羅的に回ることがで
き、学生間、学生教員間のコミュニ
ケーションが促進されました。また、
協力いただいた地元の方々に、新入生
一同しっかりと挨拶、感謝の意をお伝
えました。

日下先生より



私は平成元年4月に和歌山大
学に赴任し、本年3月に定年退
職しました。実に22年間も和
歌山大学にお世話になりました。
和歌山大学には週に1度非常
勤講師として出向き、在校
生の皆様と顔を合わせていま

す。退職後は、在職中は充分できなかった読書、思索、実践活動、友
人・卒業生との交友等で忙しくしています。これからは地域活動を支援
するNPOの設立等実践活動に重きを置きたく考えています。

高砂先生より



本年4月、本学科に着任い
たしました。建築の設計が
専門で、それに関係して建
築家の設計手法や、民家と
農家の構成などの分析もし
たいと思っています。建築

は自然と人との深く関わっているの、卒業生の皆
さんともどこかでお会いするかもしれません。その
機会があれば、学生とともに学ぶことに力添えをい
ただければ幸いです。

学科長 あいさつ

卒業生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。 ます。

デザイン情報学科の近況をご紹介しますと思います。 2012年春には、大学のそばに南海電車の「和歌山大学前」駅

本学科では、ここ数年、4月に学科教員、新生及び上級生 ができますので、気軽に来校して近況をお知らせください。

のボランティアが参加する新入生研修会を行っています。 (デザイン情報学科長 山岡 俊樹)

この研修会は展示会と懇親会の二部

構成となっていますが、前半の展示

会では教員の研究や趣味の紹介、学

生スタッフによる授業や作品の紹介

を行なっています。後半の懇親会では

同級生、上級生や教員と一緒に食

事をしながら、クイズやゲームを行

い楽しい一時を過ごしてもらって



▲懇親会会場



▲展示会会場

RICOH & Java™ Developer Challenge 2010 でグランプリを受賞

デジタル複合機 (MFP) 上で稼働するアプリケーション インターフェースを通
を提案し実装する一連の開発技術を競うコンテスト じて提供します。

「RICOH & Java™ Developer Challenge 2010」におい 1次選考を通過し
て、本学科のチームKROSIO (海老原健一さん、佐藤楨 た8チームによる最
子さん、濱田剛志さん、吉川加奈子さん) が見事グラン 終選考会が2011年1
プリを受賞しました。 月13日に行われまし

チームKROSIOは、企業内のおせっかい上司に代わる役 た。チームKROSIO
割をMFPが担うことを想定して、普段交流のない職場や は、アプリケーショ
部署・グループ企業での出会いを支援する企業内婚活支 ン開発の技術力だけ

援システム「SIAWASE」を開発しました。このシステ だけでなく、ユーザビリティに配慮した画面設計や、技術を見せるた
ムは、手のひらをスキャンした結果から相性の良い相手 めのプレゼンテーションなどが評価され、グランプリの獲得につ

を探し、匿名で文通し、告白するための機能をMFP上の ながりました。 (助教 福安 直樹)



▲最終選考会でのプレゼンテーションの様子

吉野研究室の宮部真衣さんが学長表彰を受賞しました



▲学長表彰受賞後の様子

デザイン情報学科8期生の宮部と申 おります。2011年3月に博士後期課程を
します。2011年3月に博士後期課程を 修了し、4月から東京大学知の構造化
修了し、4月から東京大学知の構造化 センターで研究員をしております。在
センターで研究員をしております。在 学時は、機械翻訳を介した多言語間コ
学時は、機械翻訳を介した多言語間コ ミュニケーション支援に関する研究を
ミュニケーション支援に関する研究を 行い、平成22年度後期学生表彰をい
行い、平成22年度後期学生表彰をい ただきました。私の行ってきた研究
ただきました。私の行ってきた研究 は、コミュニケーションを対象にして

おり、周りの人々の協力なしでは成し 遂げられなかったことが多いと感じて
遂げられなかったことが多いと感じて おります。先輩方をはじめとした、周
おります。先輩方をはじめとした、周 りの人々のお力添えがあってこそ、こ
りの人々のお力添えがあってこそ、こ のような表彰をいただくことができま
のような表彰をいただくことができま した。今後は、和歌山大学で学んだこ
した。今後は、和歌山大学で学んだこ とを生かし、社会に貢献できる成果を
とを生かし、社会に貢献できる成果を 残せるような研究を行っていきたく
残せるような研究を行っていきたく 思っています。

平成22年度 就職先

学部就職先

(株)アキュラホーム、(株)アグレックス、(株)浅川組、芦森工業(株)、(株)アスコット、アタカ大機(株)、(株)アダチ、(株)アミューズ、(株)あわしま堂、岩谷産業(株)、(株)イング、(株)梅谷製作所、(株)エイコー、永森建設(株)、(株)エイチーム、(株)エスキュービズム、(株)エステム建築事務所、NECディスプレイソリューションズ(株)、NECネットエスアイ(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西、大井電気(株)、大阪狭山市、(株)オービック、オムロン(株)、(株)ガイア、カコムス(株)、柏原市、北野木材(株)、紀の川環境協同組合、Canon Malaysia、京セラミタ(株)、京都農業協同組合、京都府、ケイミュー(株)、航空自衛隊、堺市、サンテック(株)、(株)サンレックス、(株)ジェイテクト、(株)ジャステック、(株)シャルドネ、新晃工業(株)、新生ホームサービス(株)、新日本ウエックス(株)、新日本コンピュータマネジメント(株)、(株)スーパーソフトウエア、スズキ(株)、鈴与建設(株)、スターバックスコーピージャパン(株)、(有)スタジオパストラル、スミセイ情報システム(株)、住友金属工業(株)、住友金属プラント(株)、住友生命保険相互会社、(株)精研、セイコーメディカル(株)、西菱エンジニアリング(株)、セキスイハイム東海(株)、(株)セントラル情報センター、全日本空輸(株)、大東建託(株)、タカラスタンダード(株)、タケモトデンキ(株)、田辺市、(株)タマディック、月島テクノメンテサービス(株)、TIS(株)、T&D情報システム(株)、(株)ディー・エヌ・エー、(株)ディンプス、東海旅客鉄道(株)、東金市、東洋電機(株)、(株)西島製作所、長崎市消防局、奈良市、(株)ニッカトー、(株)日テレITプロデュース、(株)日本ヴェルテック、浜松ホトニクス(株)、ビービーメディア(株)、東大阪市、(株)日立情報システムズ、(株)廣岡、(株)ファーストリテイリング、(株)フォーラムエイト、福助工業(株)、(株)フジタ、(株)富士通エフサス、(株)富士通関西システムズ、富士通関西中部ネットワーク(株)、富士通テン(株)、古河AS(株)、(株)マーキュリー、町田食品(株)、(株)マックス、マツダ(株)、丸紅アクセスソリューションズ(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機コントロールソフトウェア(株)、三菱電機情報ネットワーク(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)ミノスケ、(株)メディコムソリューション、(株)よしみな、和歌山県、和歌山県警察、(財)和歌山県建築住宅防災センター、和歌山市、和光純薬工業(株)

修士就職先

アイエス情報システム(株)、(株)アイスティサイエンス、浅井謙建築研究所(株)、(株)アドバンテージ・サイエンス、一級建築士事務所アトリエ・アースワーク、(株)一級建築士事務所K&Nアーキテクト、植田製油(株)、上村工業(株)、(株)エスキュービズム、NECディスプレイソリューションズ(株)、(株)NTTデータMSE、エヌ・ティ・ティ・データ・システム技術(株)、(株)エム・イー・エス由良、(株)エムティーアイ、大阪府立豊中高等学校、大阪府立西野田工科高等学校、大阪螺子販売(株)、(株)オーグス総研、(株)大林組、オリンパスイメージング(株)、川崎重工業(株)、(株)カワムラサイクル、関西熱化学(株)、関電システムソリューションズ(株)、岸和田市、キャノン(株)、京セラ(株)、クオリカ(株)、クマリフト(株)、(株)ケイ・オブティコム、(株)五大オーエー、コベルコシステム(株)、小松精練(株)、(株)コムラテック、(株)三翠社、(株)三洋化学研究所、(株)システムインテグレイタ、(株)島精機製作所、シャープ(株)、昭和精工(株)、スガイ化学工業(株)、住商情報システム(株)、スミセイ情報システム(株)、住友電装(株)、星和電機(株)、(株)大気社、(株)ダイキンアプライドシステムズ、ダイキン工業(株)、大日本印刷(株)、大日本スクリーン製造(株)、ダイハツディーゼル(株)、太平工業(株)、(株)竹中製作所、タケモトデンキ(株)、田島ルーフィング(株)、田淵電機(株)、玉野総合コンサルタント(株)、チッソ(株)、中部電力(株)、津田電気計器(株)、(株)椿本チエイン、TIS(株)、(株)ディンプス、(株)TECHSTAN、テクマトリックス(株)、テルモ(株)、(株)デンソー、デンソーテクノ(株)、(株)電通リサーチ、東京エレクトロン(株)、東京都足立区、地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター、(株)東和エンジニアリング、トクセン工業(株)、凸版印刷(株)、トヨタテクニカルディベロップメント(株)、(株)ナカキン、名古屋菱重興産(株)、南海辰村建設(株)、西日本旅客鉄道(株)、(株)ニチリン、(株)日東分析センター、日本大昭和板紙(株)、日本ピグメント(株)、日本ペイント(株)、(株)日本環境調査研究所、(株)ハイレックスコーポレーション、(株)長谷工コーポレーション、パナソニック・フォト・ライティング(株)、(株)日立製作所、(株)日立ソリューションズ、(株)日立テクニカルコミュニケーションズ、非破壊検査(株)、福知山市、藤井電工(株)、富士通(株)、富士通テン(株)、フジプレアム(株)、豊国製油(株)、ポリテック(株)、本田技研工業(株)、岬工業(株)、三井共同建設コンサルタント(株)、三菱電機(株)、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機コントロールソフトウェア(株)、三菱電機特機システム(株)、三菱電機メカトロニクスソフトウェア(株)、三ツ星ベルト(株)、(株)安永、八千代エンジニアリング(株)、山口朝日放送(株)、ライオン(株)、陸上自衛隊、利昌工業(株)、リンテック(株)、和歌山県、和歌山市、国立大学法人和歌山大学、和歌山マスターズ陸上競技連盟

博士就職先

(特)自然回復を試みる会ピオトープ孟子、国立大学法人東京大学 知の構造化センター、本多環境・建築設計事務所

ご案内

システム工学部の近況についてお伝えしているこのリーフレットも、今年で6回目となりました。今後も継続してみなさまにお届けしたいと思いますので住所等に変更のある場合は、同封の用紙に記入して、返信用封筒に入れて返信してください。

また、第2回ホームカミングデーの案内を同封しておりますので是非ご覧ください。

よろしく願いいたします。

編集

和歌山大学 システム工学部 技術室

連絡先 ※住所や勤務先の変更連絡はこちらでも受け付けます。

〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930

和歌山大学システム工学部

Tel:073-457-8011 E-mail:sotsugyou@ml.sys.wakayama-u.ac.jp